

平成 28 年度 第 1 回 福岡市総合図書館運営審議会 議事録

1 日 時：平成 28 年 8 月 26 日（金）10：00～12：00

2 場 所：福岡市総合図書館 3 階 第 2 会議室

3 出席者：委 員）吉田祐子，西依節雄，渡邊由紀子，増本桂子，梶山美知子，梶田由美子，
木村由美，香川純子，野田真由美，高橋昇，白根恵子，脇川郁也，黒岩俊哉，
市澤安雄，柴田富之（計 15 名）

職 員）酒井館長，河口事業管理部長，坂本運営課長，岩口図書サービス課長，
三浦文学・文書課長 他

傍聴人）2 名

4 議事録

1. 開 会

館長挨拶／委員紹介／職員紹介

2. 議 事

議事 1 会長・副会長選出

会長に高橋委員，副会長に梶山委員を選出

議事 2 平成 27 年度事業報告について

委 員	P 1 利用者が減っている原因や年齢別の内訳など分析しているか？
事 務 局	登録者のデータは年代別で把握可能だが，利用状況については集計を行っていない。
委 員	来館者減の原因を分析すべき。福岡市博物館ではイベント開催，ボランティア活用，PR 戦略などで来館者が回復している。
事 務 局	ご意見をもとに，分析していきたい。
委 員	P 2 平成 27 年度の総合図書館貸出冊数 1,449,611 冊のうち，研究書，いわゆる図書館でしか得られない高価な資料などと一般書の割合を教えてください。
事 務 局	1,449,611 冊の内訳は，一般書 1,044,049 冊，児童書 405,562 冊であるが，高価な資料などの割合については統計がなく，お手元に別途配布している，図書館要覧 P 13 の日本十進分類法による「貸出可能図書分類別利用状況」の分類だけである。
委 員	総合図書館の貸出冊数は，平成 27 年度は前年度比 4.8%減であるが，平成 25 年度比では 7.6%も減少している。図書館としては，ただ貸出冊数が減少しているという分析だけでなく，どのような本がよく借りられ，どのような本を揃えるべきなのか等，総合図書館と分館の性質の違いなども踏まえ，分析していく必要があるのではないか。そういう意味では，総合図書館は，一般に手に入らない本を揃え，市民に提供していくべきではないかと考えている。
事 務 局	また同様に，P 4 大学図書館とのネットワークでも，借受・貸出されている本の内容を分析しているのか？ 今後はさらに分析を進めていきたい。

委 員 事 務 局	<p>P 4 福岡都市圏 17 市町とは？大野城市や春日市で福岡市民がどのくらい、どんな本を借りているのか教えてほしい。</p> <p>福岡市，筑紫野市，春日市，大野城市，宗像市，太宰府市，古賀市，福津市，糸島市，那珂川町，宇美町，篠栗町，志免町，須恵町，新宮町，久山町，粕屋町である。図書館だけでなく体育館などの施設の相互利用も行っている。</p> <p>貸出冊数の統計については，福岡市民が福岡市の図書館で借りている冊数は前年度比 1.3%マイナス。以下，筑紫野市 4%マイナス，春日市 1.2%マイナス，大野城市 0.1%マイナス，太宰府市 16.7%マイナスで，他市町においても福岡市民の貸出冊数は減っている。増えている市町としては糸島市 0.4%プラス，志免町 0.7%プラスであるが，全体的には減少傾向である。</p>
委 員	<p>貸出冊数だけではなく，他市町の図書館でこういった本が借りられているかを把握すれば，今後の選書の参考になるのではないかと。</p>
委 員 事 務 局	<p>P 5 「国立国会図書館のレファレンス共同データベース登録状況」の表中「事例被参照数」とは何か？ また，2年間で約 5 倍に増えているのはなぜか？</p> <p>「事例被参照数」とは，データを閲覧した件数であり，魅力的なデータが増えたことが増加の要因と考えている。</p>
委 員 事 務 局	<p>P 6 読書活動ボランティア講座の受講生が，その後どれくらいボランティア活動に従事しているか調査しているのか？また初心者コース受講後に経験者コースを受講する人も少ないと聞いているが，講座内容の見直しは考えていないのか？</p> <p>追跡調査はしていない。申し込みも多く，受講生の満足度も高く，ある程度充実した内容であると考えており，現在のところ講座内容の見直しの予定はない。また，地域文庫紹介マップを作成し，受講生へ活動できる場の情報提供も行っている。</p>
委 員 事 務 局 委 員	<p>初心者コースから経験者コースへ移行した人の数字を把握すべきではないか？</p> <p>受講者名簿で把握は可能である。</p> <p>初心者コースは絵本の読み聞かせ，経験者コースはストーリーテリング中心である。初心者コースは小学校での朝読の読み聞かせの会で活動している人が多い。先輩から勧められて受講された人が多いので，かなりの人数がボランティアとして活動しているのではないかと。経験者コースの受講者からは，もう一度おさらいがしたいという声に応じて，今年度から「おさらい会」の実施を予定している。</p>
委 員 委 員	<p>P 7 「一日おはなし会」の参加人数が平成 27 年度に激減しているのはなぜか？</p> <p>主催した福岡おはなし会の代表である私からお答えすると，当初予定していた日程が台風接近のため中止となり，振り替え開催したことや，回数も全 7 回から 4 回に減らし，広報期間も十分にとれなかったことが前年度を大幅に下回った理由である。</p>
委 員 事 務 局	<p>P 9 「歴史的公文書の展示」の来場者数が 2 年間で約 3 倍に増えている理由は？</p> <p>同展示は平成 25 年度から開始したが，展示自体の認知度も上がってきたためと考えている。</p>
委 員 事 務 局	<p>P 9 文学館事業（企画展示）の来場者数が 2 年間で半減している理由は？</p> <p>テーマによって来場者数にばらつきがでる。平成 25 年度は大河ドラマの放映に合わせて黒田官兵衛関連の展示を行ったため，参加者が多かった。</p>

委 員	P11 映像ホール・シネラの貸館上映の入場者数減少傾向と指定管理者制度の導入は関係があるのか？
事 務 局	貸館上映とは、図書館主催の上映ではなく、ホールを借り受けた団体の自主上映のことである。入場者数増減も、借り受けた団体の企画内容によるものである。
委 員	提案だが、図書館での企画やイベントなどがテレビや新聞などのメディアに取り上げられた内容・件数なども報告してほしい。
委 員	提案だが、人口一人あたりの蔵書数について、他の政令市との比較をするなど分析してほしい。
委 員	P13 図書館ボランティアとの共働の具体的な内容は？
事 務 局	書架整理，資料整理，図書の修理など。従事時間数で見ると，図書の修理が全体の半分を占めている。
委 員	P13 利用時間の拡大について，市の財政がひっ迫しており，博物館，公民館，学校関係などの運営にも影響が出ていると聞いている。図書館運営費の予算確保は大丈夫か？
事 務 局	予算の確保には苦慮しているというのが現状。開館時間延長すればその分光熱水費などがかかる。総合図書館については，建物管理に指定管理者制度を導入することで，コストダウンを図り，その部分を光熱水費に回す試みを行った。
委 員	P14 基礎研修と専門研修の内容と参加者数を次回以降記載してほしい。
委 員	P14 危機管理対策事業について，参加者に利用者は含まれないのか？
事 務 局	休館日に委託スタッフも含めた内部のみで実施している。利用者役も設定して誘導訓練を行っている。
委 員	P16 資料収集の充実の中で，「福岡市総合図書館図書資料部門収集方針」を策定したとあるが，ユネスコの指針では，市民一人あたり 3 冊の蔵書が目標とされているなか，福岡市の図書館では市民一人あたり 2 冊にも届いていない。市の予算の関係もあるだろうが，ここ数年の蔵書統計の経過を見ると，年間の蔵書の増加数が激減している。このあたりも来館者数や貸出冊数減少の一因になっているのではないかと思うので，もっと予算の確保に努めてほしい。
事 務 局	市の財政状況は厳しい中だが，図書購入費の予算を確保できるよう努力していきたい。
委 員	P17 モデル児童図書目録の配布について，目録の発行冊数が少ない。電子メディアでの配信やデータでの公開など，より多くの保護者に知らせる手段はないのか？
事 務 局	モデル児童図書目録については，幼児，小学1・2年，小学3・4年，小学5・6年の4段階に分かれていて，いままでは10～15年周期で制作していた。そのやり方を大きく見直し，掲載数を絞り込み，4段階ごとに毎年発行する計画を進めている。その中で，ホームページなどでのデータ公開についても盛り込んでいきたい。

委員	P17 公民館等の読書活動への支援の中で、公民館や留守家庭子ども会との協議が実施できなかったのはなぜか？
事務局	公民館や留守家庭子ども会を所管する市の担当部局との協議が整わなかったため。
委員	P18 行政資料の収集状況について、最近では福岡市市内でも資料の電子化が進んでいると思うが、これらの電子化された行政資料の収集に関して、将来的には電子データでの収集などを検討しているのか？
事務局	最近、刊行物を冊子にせずホームページ等で公開するケースも増えてきており、今後検討していきたい。
委員	国は地方自治体の電子資料を、国立国会図書館のインターネット資料収集保存事業(WARP)で収集している。福岡市の資料も収集された際は、ホームページにリンクを貼るなどして、活用に努めてほしい。

3. 報告事項 平成27年度福岡市総合図書館の運営に関する評価について
(福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議の報告)

委員	P2 評価の基準にA以上はないのか？
事務局	計画を上回って実施した場合もA評価としている。
委員	P6 開館時間、休館日の見直しについて、今後、さらなる拡大の予定は？
事務局	総合図書館は今年4月から開館時間を1時間拡大したが、人員体制はそのままで、勤務シフトの見直しで対応した。 今後については、勤務上の影響等を検証しながら検討していきたいと考えている。
委員	P11 レファレンス（相談）サービスの充実について、運用方針の策定が遅れたとあるが、遅れた理由は？
事務局	総合図書館では部門や分野が分かれており、受付方法や質問の仕分け、回答作成の手順を整理するのに時間がかかった。ワンストップで受付し、担当部門から回答を送付する方法ですでに開始している。
委員	P20 新一年生への「貸出カードの付与」の予定が「貸出カード作成案内の保護者への配布」に変更された経緯は？
事務局	個人情報保護の観点から問題ありとなったためである。 計画段階では学校から生徒の情報を提供してもらう予定だったが、生徒や家族の情報を図書館事業に利用することは目的外利用にあたるということが分かったため計画を変更したもの。

委員	P23 学校図書館支援センターの設置について、支援センターが設置されたことで小学校は大変助かっているが、平成27年度末で27校とまだ登録数が少ないので、小学校の読書活動の推進のためにも活用を呼びかけてほしい。
委員	P23 学校図書館支援センターの設置について、中学校としても、非常に喜ばしい。校長会だけでなく教頭会や教務主任会にも足を運んで情報提供してほしい。
委員	P23 学校図書館支援センターの設置について、現在、登録校が少ないので充実した活動ができている。今後登録数も増え、相談も増えてくると思うので将来を見据えた対策をきちんと考えてほしい。
事務局	現在登録校は50校まで増えており、相談や学校からの訪問要請も増えている。今後要望の拡大も予想されるので体制整備を進めていきたい。
委員	P24とP25 図書館外施設でのアジア映画上映事業及び広報活動の強化について、シネラの広報が20年間ほとんど変わっていない。 総合図書館の素晴らしい財産、他にはない特色ある施設を市民に発信する方法を、もう少し考えてほしい。 点字図書館についても同様に、内部で難しければ、外部のアドバイスも入れながら広報を充実してほしい。
事務局	メルマガやSNSなども利用しながら広報の充実・強化を図っていきたい。
委員	P32 施設の有効活用などによる財源確保の中で、年間約400万円の駐車場収入を確保しているが、こういった用途に使うのか？
事務局	歳入予算の一部として計上しているものだが、目的税のように用途を指定しているものではないので、歳出予算全体の中で利用されていると考えてほしい。

4. 閉会

事業管理部長挨拶／事務連絡